

どうする？

葬式

どうなる？
葬式



平成30年6月30日(土) - 8月26日(日)

どうする？葬式 どうなる？葬式

平成30年6月30日(土) - 8月26日(日)

生きとし生けるものは必ず死を迎えます。人もこの例外ではなく、生まれた瞬間から死へ向かっての一步を踏み出します。とは言え、現代の日本では子供の頃はもちろん、若いうちは死に触れたり、死について考える機会もあまりありません。

この展覧会では、昭和30年代まで当たり前で営まれていた安曇野での葬式を紹介します。自宅で死を迎え、葬式を行っていた頃の安曇野の人々が、どのような考えのもとに死者を送っていたのかをご覧ください、人生の最後に迎える葬式について考える機会にさせていただきたいと思ひます。

講演会 7月22日(日) 午後1時30分

「私の終末活動」

講師 福澤昭司さん (長野県民俗の会会員)

日時 7月22日(日) 午後1時30分～3時

会場 博物館 学習室

定員 50名 (先着順)

参加費 無料 (要入館料)

申込み 不要

イベント① 7月28日(土) 午前9時30分

三途の川を渡って満願寺へ行こう

宗派や宗教に関わらず、盆には安曇野各地から「魂迎え」に訪れた満願寺周辺を歩きます。

日時 7月28日(土) 午前9時30分～12時

定員 20名 (先着順)

参加費 300円 (保険代等)

申込み 6月30日～7月26日に博物館へ電話にて申込み
※詳細はお申し込み時にご案内します

イベント② 8月10日(金) 午後5時30分

夜の博物館 ～ナイトミュージアムで肝試し

お盆はご先祖様が帰ってくる時。博物館はあの世の人であふれる。勇気あるキミの参加を待っています。手作りローソクを制作後、夜の博物館展示室で肝試しをします。

日時 8月10日(金) 午後5時30分～7時

会場 豊科郷土博物館

定員 30名 (先着順・小学校低学年以下のお子様は保護者同伴)

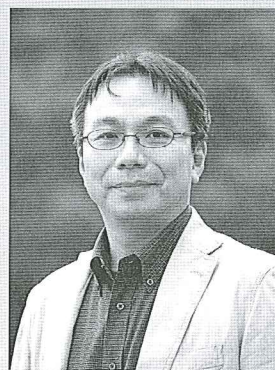
参加費 100円 (ローソク制作費等・要入館料)

申込み 6月30日～8月8日に博物館へ電話にて申込み

夏季企画展特別講演会

「どのように死と向き合うのか 死と葬儀の民俗をみつめながら」

講師 山田慎也さん
(国立歴史民俗博物館准教授)



日時 8月4日(土)
午後1時30分～3時

会場 安曇野市豊科
交流学习センターきぼう
多目的交流ホール

参加費 100円 (資料代等)

定員 150名 (先着順)

申込み 6月30日～前日までに博物館へ電話にて申込み

山田慎也さんプロフィール

博士 (社会学・慶應義塾大学 2000年)
1992年 慶應義塾大学法学部法律学科卒業
1997年 慶應義塾大学大学院社会学研究科博士課程単位取得満期退学
1997年 国立民族学博物館講師 (文部省中核的研究機関研究員)
1998年 国立歴史民俗博物館民俗研究部助手
2002年 英国オックスフォード大学ニッサン日本研究所及びセントアントニーズコレッジ客員研究員
2007年 国立歴史民俗博物館研究部准教授
2008年 総合研究大学院大学文化科学研究科日本歴史研究専攻准教授兼任、現在に至る。
専門は民俗学・文化人類学。おもな業績に、山田慎也著『現代日本の死と葬儀―葬祭の展開と死生観の変容』(東京大学出版会、2007年)、山田慎也・鈴木岩弓・国立歴史民俗博物館編『変容する死の文化―現代東アジアの葬送と墓制』(東京大学出版会、2014年) 山田慎也・国立歴史民俗博物館編『近代化のなかの誕生と死』(岩田書院、2013年) など。

安曇野市豊科郷土博物館

〒399-8205 長野県安曇野市豊科4289番地8
TEL 0263-72-5672 FAX 0263-72-7772 <http://azuminohaku.jp/>

- 【開館時間】 午前9時～午後5時 (入館は午後4時30分まで)
- 【入館料】 高校生以上100円 (20名以上の団体は1名につき80円)
※中学生以下、安曇野市内在住の70歳以上の方は無料
- 【休館日】 月曜日 (祝日の場合は開館)・祝日の翌日
- 【アクセス】 JR大系線豊科駅より徒歩15分・JR篠ノ井線田沢駅より車で10分
長野自動車道安曇野I.Cより車で5分

